

体験寺子屋事業 実践事例（取組の一例）

実施区分
2泊3日

■ 実施主体

地域住民、公民館職員で組織する実行委員会

■ 参加対象

小学3～6年生

■ 実施・宿泊場所

管内の寺院

■ 事業の目的

- ☑ 宿泊体験を通じた交流により自立や協調の心を養う
- ☑ 自らを律し振り返る機会の提供や文化の継承を図る

■ 体験活動の内容

通学合宿、座禅体験、寺院清掃、正月飾り作り など

■ スケジュール

時間	1日目(木曜日)	2日目(金曜日)	3日目(土曜日)
6:00	学校 (終業後、児童集合)	・起床(6:00) ・朝食 ・登校 (バス、タクシーを利用)	・起床(6:00) ・朝食 ・寺院内清掃 (班対抗雑巾がけレース)
12:00		学校	・昼食 ・正月飾り作り ・閉校式(15:00)
18:00	・開校式(17:00～) ・自己紹介 ・夕食 ・入浴 ・宿題(学習支援) ・リーダー連絡会	・下校(16:00) ・夕食(JA女性部が協力) ・入浴 ・宿題(学習支援) ・座禅体験 ・リーダー連絡会	-
21:00	・就寝(21:00)	・就寝(21:00)	

■ 経費内訳

歳入項目	金額	内容	歳出項目	金額	内容
補助金	60,000円	県補助金	報償費	10,000円	ボランティア謝礼
参加者負担	150,000円	5,000円 ×30人	旅費	25,000円	バス代、タクシー代
団体負担	40,000円	-	需用費	110,000円	食糧費 材料費 消耗品費 印刷製本費 感染症対策
合計	250,000円		役務費	15,000円	保険代
			使用料	90,000円	施設使用料
			合計	250,000円	



■ 工夫した点

- ☑ 管内の全小学校を対象に参加者を募集したことにより、他校児童との交流の機会を提供した
- ☑ 公民館職員が実行委員会のコーディネート役を務め、スムーズな運営につながった。中学生ボランティアも運営に加わった
- ☑ 夕食のカレー作りにJA農協女性部に協力いただいた。ボランティア謝礼を報償費にて支出した(補助対象経費)